

「IR基礎講座」(9月28日開催)のご案内

わかりやすい講義でIR基礎力を磨く

日本IR協議会では、「IR基礎講座」を下記のとおり開催いたします。

○ 対象となる方々：

これからIR業務を担当する、IR業務を始めて日が浅い、といったIR担当者の方々を中心にしておりますが、IR部門の責任者や、IRを網羅的に学びたいという方なども、数多く参加いただいております。

○ 学習内容：

本講座は、IR業務にかかわる「基本」と、知っておくべき「最新テーマ」を組み合わせた学習プログラムにしております。資本市場で活躍する方々の講義、および特徴的なIR活動を行っている企業の事例紹介により、後々、役立つ内容と確信しております。

○ 受講を機にIRスキルのレベルアップ：

当協議会は、IR担当者が専門的なスキルを高めるための講座を設けております。基礎講座受講後、「IR実務講座」(英語)や「IR専門講座」(財務)、「IR優良企業講座」(総合的なベストプラクティス)を活用すると、理論と実務の両面から能力向上に役立てることができます。

○ 講師とプログラム：

当協議会の専務理事が「IRの基本と課題」で主要論点を解説した後、大きく分けて、以下2種類のプログラムをご用意しております。

<資本市場の仕組み・アナリストの視点・投資家の動向に関する講義>

「IRの基礎となる適時開示」では東京証券取引所の規則を中心に、情報開示制度の基礎や市場区分再編の今後を含む最新のトピックを学習します。「アナリストの仕事と望ましいIR活動」では、セルサイドアナリスト、期待する情報開示やIRのあり方を探ります。そして「海外投資家の動向とIRの要点」では株式市場においてプレゼンスが高まっている海外投資家の現況を包括的に学びます。

<業種の異なる企業による事例報告>

2022年の「IR優良企業大賞」「共感！IR賞」受賞企業より、「投資家視点の社内フィードバックを基にさらなる開示と対話の充実を図る」「中長期の企業価値向上に資するための積極的なIR活動の実践」について、各社の特徴を踏まえて具体的に語っていただきます。

最終講ではすべての講義の要点をまとめ、「信頼されるIRオフィサー」像を描きます。

○ 参考資料

参考資料として当協議会が編集した「IRベーシックブック」(2023-24年版)を別途お送りします。

【開催概要】

日時：2023年9月28日(木) 9時30分～16時25分

リモートでのご受講 (Zoom ウェビナー 定員400人程度)

アーカイブ配信:10月2日(月)～10月6日(金)

*講座自体は「リモート受講」および「会場受講」(ハイブリッド形式)で開催します。

「会場受講」につきましては、所定の人数に達しましたので申込みを締め切っております。

主催：一般社団法人 日本IR協議会

【ご案内】

受講費：会員 15,000円 非会員 30,000円

(1名あたり税込み、参考資料代を含む)

※お申し込み確認後に請求書をお送りします。9月末日までにご入金願います。

※参考資料(「IRベーシックブック」)は、9月下旬に受講者あてに送付いたします。

※キャンセルをお受けする日時は開催日の4営業日前(9月22日)の17時までです。キャンセルは
お電話のみにて受け付けます。(TEL:03-5259-2676)

【受講に関するお願い】

講座の2日前をめぐりに「受講のご案内」をメールで連絡します。内容は、Zoom ウェビナーへのアクセスURL、講義資料ダウンロード用のURLのご案内を予定しています。また講座開催後にアーカイブ配信についてご案内いたします。

※Zoom ウェビナー、アーカイブ配信URLともに受講者として登録頂いた方が利用可能です。
所属部門内での共有は受講者の責任のもとでお願いいたします。くれぐれも二次使用や顧客等
への拡散はお控えください。

【お申し込み】

当協議会のウェブサイトからご入力ください。 <http://www.jira.or.jp/>

本案内に添付しております参加申込書にてメール、FAXでもお申込みいただけます。

※申込期限：9月15日(金)17時

※必ず社内LANの環境などZoom ウェビナーに対応可能であることを確認のうえお申込み
をお願いします。通信環境等でご不明の場合には、御社の情報システム部門や総務部門と
のご相談をお奨めします。ご自宅等からの受講予定の場合にもLANやWi-fiの通信環境
のご確認をお願いします。

■プログラム

9月28日（木）					
9:35- 10:05	<p>① IRの基本と課題</p> <p>IRの基本を確認し、「IR活動の実態調査」結果や事例報告によって全体像を描き出す。近年、重視されているポイントも整理し、活動を深めるための留意点を明確にする。</p> <p>日本IR協議会 専務理事 佐藤 淑子</p>				
10:10-11:00	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;"> <p>② IRの基礎となる適時開示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ディスクロージャー・IRの意義 ・適時開示の概要とIRとの関係 ・適時開示にあたっての基本的な留意点 ・国内資本市場における最近の動向 ・質疑応答 </td> <td style="width: 50%;"> <p>☆ポイント</p> <p>IRの基礎となる「適時開示」について解説する。IR担当者が知っておくべき規則に加え、「コーポレートガバナンス・コード」の要点や、市場区分の再編後の国内資本市場の動向など最新情報を含め、お話しいただく。</p> </td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;"> <p>東京証券取引所 取締役常務執行役員 青 克美 氏</p> </td> </tr> </table>	<p>② IRの基礎となる適時開示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ディスクロージャー・IRの意義 ・適時開示の概要とIRとの関係 ・適時開示にあたっての基本的な留意点 ・国内資本市場における最近の動向 ・質疑応答 	<p>☆ポイント</p> <p>IRの基礎となる「適時開示」について解説する。IR担当者が知っておくべき規則に加え、「コーポレートガバナンス・コード」の要点や、市場区分の再編後の国内資本市場の動向など最新情報を含め、お話しいただく。</p>	<p>東京証券取引所 取締役常務執行役員 青 克美 氏</p>	
<p>② IRの基礎となる適時開示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ディスクロージャー・IRの意義 ・適時開示の概要とIRとの関係 ・適時開示にあたっての基本的な留意点 ・国内資本市場における最近の動向 ・質疑応答 	<p>☆ポイント</p> <p>IRの基礎となる「適時開示」について解説する。IR担当者が知っておくべき規則に加え、「コーポレートガバナンス・コード」の要点や、市場区分の再編後の国内資本市場の動向など最新情報を含め、お話しいただく。</p>				
<p>東京証券取引所 取締役常務執行役員 青 克美 氏</p>					
10:50-11:00	休憩				
11:10-12:00	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;"> <p>③ アナリストの仕事と望ましいIR活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セルサイドアナリストを取り巻く環境、海外投資家や資本市場の動向 ・取材・レポート発信・機関投資家とのコミュニケーションの現状 ・バリュエーションや投資レーティング判断に至るまでのプロセスと主な判断項目 ・経営者や事業部門責任者に望む説明やディスカッション、望ましいIR活動 ・質疑応答 </td> <td style="width: 50%;"> <p>☆ポイント</p> <p>証券アナリストは、どのような視点で企業価値を分析・評価し、資本市場に発信するのだろうか。電力・ガス・石油セクター担当アナリストとして高い評価を得ている講師より、最近の動向や企業に期待する望ましいIR活動についてお話しいただく。</p> <p>日経ヴェリタスアナリストランキング 1 位 (2021 年～2023 年)</p> </td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;"> <p>大和証券 エクイティ調査部 シニアアナリスト 西川 周作 氏</p> </td> </tr> </table>	<p>③ アナリストの仕事と望ましいIR活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セルサイドアナリストを取り巻く環境、海外投資家や資本市場の動向 ・取材・レポート発信・機関投資家とのコミュニケーションの現状 ・バリュエーションや投資レーティング判断に至るまでのプロセスと主な判断項目 ・経営者や事業部門責任者に望む説明やディスカッション、望ましいIR活動 ・質疑応答 	<p>☆ポイント</p> <p>証券アナリストは、どのような視点で企業価値を分析・評価し、資本市場に発信するのだろうか。電力・ガス・石油セクター担当アナリストとして高い評価を得ている講師より、最近の動向や企業に期待する望ましいIR活動についてお話しいただく。</p> <p>日経ヴェリタスアナリストランキング 1 位 (2021 年～2023 年)</p>	<p>大和証券 エクイティ調査部 シニアアナリスト 西川 周作 氏</p>	
<p>③ アナリストの仕事と望ましいIR活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セルサイドアナリストを取り巻く環境、海外投資家や資本市場の動向 ・取材・レポート発信・機関投資家とのコミュニケーションの現状 ・バリュエーションや投資レーティング判断に至るまでのプロセスと主な判断項目 ・経営者や事業部門責任者に望む説明やディスカッション、望ましいIR活動 ・質疑応答 	<p>☆ポイント</p> <p>証券アナリストは、どのような視点で企業価値を分析・評価し、資本市場に発信するのだろうか。電力・ガス・石油セクター担当アナリストとして高い評価を得ている講師より、最近の動向や企業に期待する望ましいIR活動についてお話しいただく。</p> <p>日経ヴェリタスアナリストランキング 1 位 (2021 年～2023 年)</p>				
<p>大和証券 エクイティ調査部 シニアアナリスト 西川 周作 氏</p>					
12:00-12:50	昼食・休憩				
12:50-13:40	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;"> <p>④ 海外機関投資家の動向とIRの要点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海外機関投資家の日本株売買動向 ・日本企業に対する海外機関投資家の評価や要望 ・海外機関投資家向けIR活動の要点や注意事項 ・アクティビスト(物言う株主)に対する準備や対応 ・質疑応答 </td> <td style="width: 50%;"> <p>☆ポイント</p> <p>国内の株式市場において海外投資家のプレゼンスが高まっている。海外投資家の活動の現状に加え、日本企業をどんな情報で評価しているのか、IR活動では何を留意すべきなのか、アクティビスト対応はどうすべきなのか、など包括的に話しいただく。</p> </td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;"> <p>S&Pグローバル・マーケット・インテリジェンス IR&サステナビリティ・ソリューションズ ディレクター 伊奈 伸一 氏 ガバナンス担当 ディレクター 松永 敦 氏</p> </td> </tr> </table>	<p>④ 海外機関投資家の動向とIRの要点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海外機関投資家の日本株売買動向 ・日本企業に対する海外機関投資家の評価や要望 ・海外機関投資家向けIR活動の要点や注意事項 ・アクティビスト(物言う株主)に対する準備や対応 ・質疑応答 	<p>☆ポイント</p> <p>国内の株式市場において海外投資家のプレゼンスが高まっている。海外投資家の活動の現状に加え、日本企業をどんな情報で評価しているのか、IR活動では何を留意すべきなのか、アクティビスト対応はどうすべきなのか、など包括的に話しいただく。</p>	<p>S&Pグローバル・マーケット・インテリジェンス IR&サステナビリティ・ソリューションズ ディレクター 伊奈 伸一 氏 ガバナンス担当 ディレクター 松永 敦 氏</p>	
<p>④ 海外機関投資家の動向とIRの要点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海外機関投資家の日本株売買動向 ・日本企業に対する海外機関投資家の評価や要望 ・海外機関投資家向けIR活動の要点や注意事項 ・アクティビスト(物言う株主)に対する準備や対応 ・質疑応答 	<p>☆ポイント</p> <p>国内の株式市場において海外投資家のプレゼンスが高まっている。海外投資家の活動の現状に加え、日本企業をどんな情報で評価しているのか、IR活動では何を留意すべきなのか、アクティビスト対応はどうすべきなのか、など包括的に話しいただく。</p>				
<p>S&Pグローバル・マーケット・インテリジェンス IR&サステナビリティ・ソリューションズ ディレクター 伊奈 伸一 氏 ガバナンス担当 ディレクター 松永 敦 氏</p>					

13:40-13:50	休憩	
13:50-14:40	<p>⑤ 投資家視点の社内フィードバックを基に さらなる開示と対話の充実を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会社概要、経営戦略、事業戦略 ・IR活動体制 ・事業部門役員や戦略部門への『IRフィードバック』実施の目的や意義 ・最新の取り組み ・質疑応答 	<p>☆ポイント IR活動において開示・対話する内容が拡大する中、キヤノンマーケティングジャパンがどのように社内体制を整え、IR活動の充実につなげているのか。同業各社からも評価が高い取り組みを中心にお話しいただく。</p> <p>*2022年度「共感！IR賞」に選定</p>
<p>キヤノンマーケティングジャパン 企画本部 サステナビリティ推進部 IR推進センター 所長 二宮 光太郎 氏</p>		
14:40-15:00	休憩	
15:00-15:50	<p>⑥ 中長期の企業価値向上に資するための 積極的なIR活動の実践</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会社概要、経営戦略、事業戦略 ・資本市場から評価が高い、経営トップや事業部門責任者との多彩なIRミーティング ・サステナビリティ戦略と経営戦略の統合 ・最新の取り組み ・質疑応答 	<p>☆ポイント アサヒグループホールディングスは長期にわたって高い水準のIR活動を続けており、2022年度には「IR優良企業大賞」を受賞している。(2回目) 特に経営トップの積極的な対話、投資家の声を反映したサステナビリティ経営の推進には定評がある。</p>
<p>アサヒグループホールディングス ヘッド・オブ・IR 高野 武史 氏</p>		
15:50-16:00	休憩	
16:00-16:20	<p>⑦ 講座のまとめ「信頼されるIRオフィサー」とは これまでの講義のポイントをまとめ、今後の活動に役立つ形に整理する。経営トップを支える「IRオフィサー」として期待されるプロフィールも示す。</p>	
<p>日本IR協議会 専務理事 佐藤 淑子</p>		
16:20-16:25	<p>事務連絡 アンケートご協力をお願い</p>	